

2019年3月期 第1四半期 決算説明会資料

2018年8月3日@ステーションコンファレンス東京

7741.T [ADR: HOCOPY US] HOYA株式会社

1. 決算概要 [代表執行役CFO 廣岡 亮]

2. 情報・通信事業概況

3. ライフケア事業概況

4. 総括

5. 質疑応答

業績概況

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益	1,272	1,389	+117	+9%
税引前四半期利益	305	352	+47	+15%
四半期利益	252	285	+33	+13%
cf. 通常の営業活動 からの利益	297	353	+56	+19%

四半期最高の売上/通常の営業活動からの利益を達成

為替換算の影響

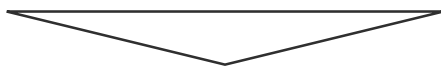
(億円)	前期レート 換算(A)	当期レート 換算(B)	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益	1,389	1,389	+0	+117	+9%
税引前四半期利益	349	352	+3	+43	+14%
四半期利益	282	285	+3	+30	+12%

主要通貨	(A)Q1 FY17 レート	(B)Q1 FY18 レート	変動率
US\$	¥111.42	¥109.53	+1.7%(円高)
EURO	¥124.26	¥129.01	-3.8%(円安)
BAHT	¥3.25	¥3.39	-4.3%(円安)

特殊要因について

包括利益計算書

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY
収益合計	1,283	1,399	+116
費用合計	978	1,047	+69
税引前四半期利益	305	352	+47



本四半期においては、特筆すべき事項なし

ライフケア事業 業績概況

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	828	913	+85	+10%
税引前四半期利益	141	174	+33	+24%
cf.通常の営業活動 からの利益	141	178	+38	+27%
cf.通常の営業活動 からの利益率	17.0%	19.5%	+2.5pt	

*外部売上の数値

ライフケア事業 業績概況(為替影響除き)

Q1 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	910	913	+3	+82	+10%
税引前四半期利益	170	174	+4	+29	+21%
cf.通常の営業活動 からの利益	176	178	+2	+35	+25%

*外部売上の数値

情報・通信事業 業績概況

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	436	466	+30	+7%
税引前四半期利益	167	190	+24	+14%
cf.通常の営業活動 からの利益	166	188	+22	+13%
cf.通常の営業活動 からの利益率	38.0%	40.3%	+2.3pt	

*外部売上の数値

情報・通信事業 業績概況(為替影響除き)

Q1 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	469	466	-3	+33	+8%
税引前四半期利益	191	190	-1	+24	+15%
cf.通常の営業活動 からの利益	188	188	-1	+23	+14%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

ヘルスケア関連製品 売上収益 メガネレンズ/コンタクトレンズ

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	621	696	+76	+12%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	695	696	+74	+12%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

メディカル関連 内視鏡 / 眼内レンズ

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	207	217	+9	+5%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	214	217	+7	+3%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

エレクトロニクス関連 マスク& blanks / HDD基板

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	335	354	+19	+6%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	358	354	+23	+7%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

映像関連製品
カメラレンズほか

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	100	111	+11	+11%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	111	111	+11	+11%

*外部売上の数値

貸借対照表

(億円)	Q4 FY17	Q1 FY18	QoQ
非流動資産	2,045	2,305	+260
流動資産	4,462	4,317	-145
資本	5,307	5,473	+166
非流動負債	157	158	+1
流動負債	1,043	990	-52
合計	6,506	6,621	+115

1

1 東芝メモリへの出資（270億円）や配当の支払い（165億円）により、現金が減少、流動資産全体では145億円の減少

キャッシュフロー計算書

(億円)	Q1 FY17	Q1 FY18	YoY
営業活動によるCF	248	258	+10
投資活動によるCF	-45	-322	-276
財務活動によるCF	-171	-169	+1
現金及び現金同等物 期末残高	3,042	2,262	-780

1

1 東芝メモリへの出資実行により、投資活動に係るキャッシュアウトが276億円増加

2019年3月期 Q2予測

(億円)	Q2 FY17	Q2 FY18	増減	増減率
売上収益	1,358	1,391	+33	+3%
税引前四半期利益	329	338	+9	+3%
四半期純利益	268	275	+7	+3%

1. 決算概要

2. 情報・通信事業概況 [執行役COO/CTO 池田 英一郎]

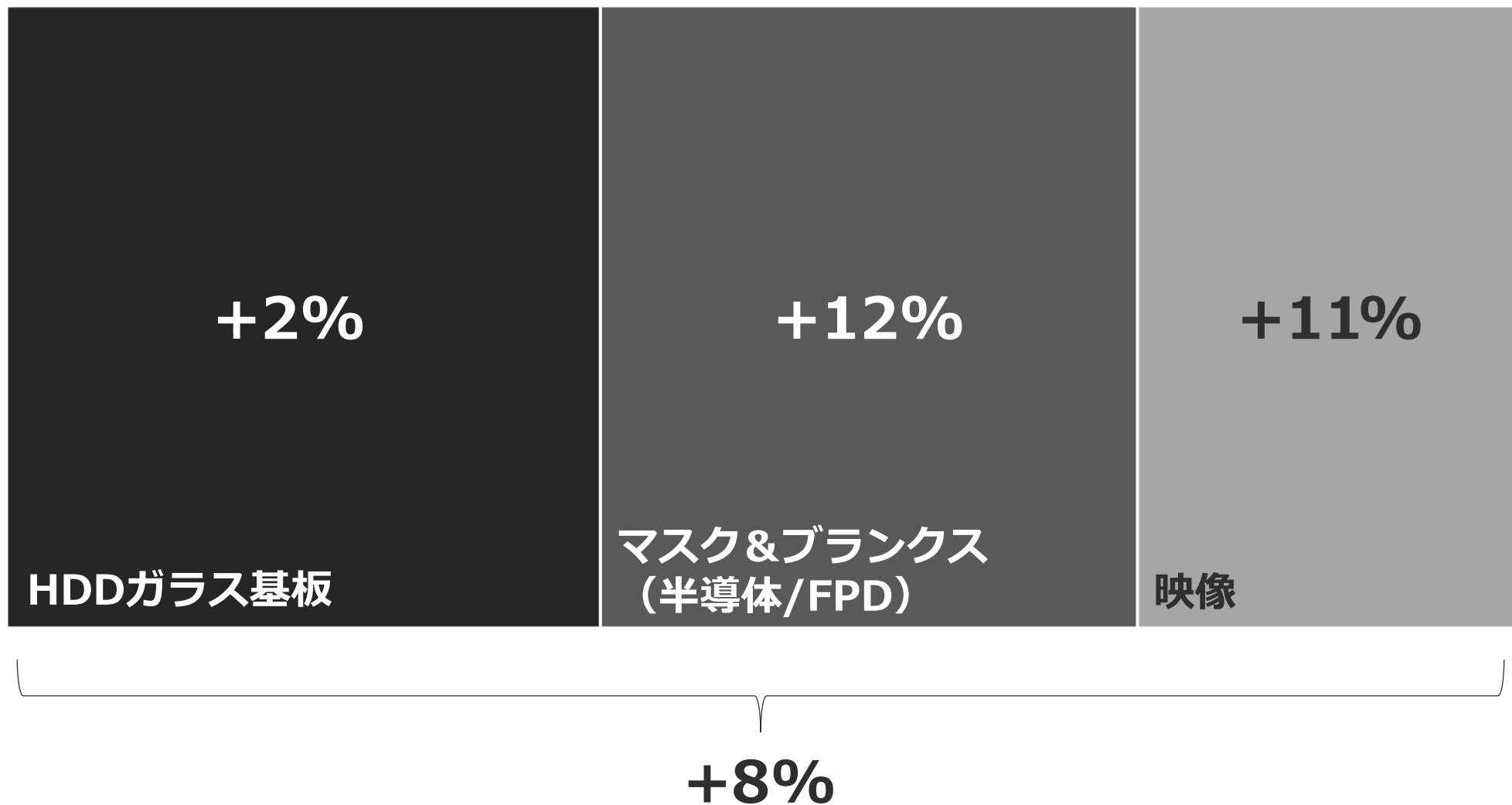
3. ライフケア事業概況

4. 総括

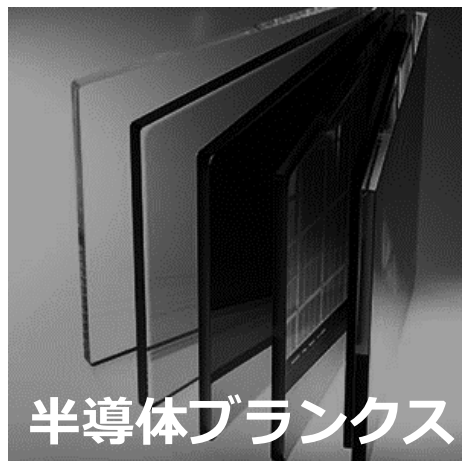
5. 質疑応答

情報・通信事業概況

売上増減率（為替影響除き）



製品別概況

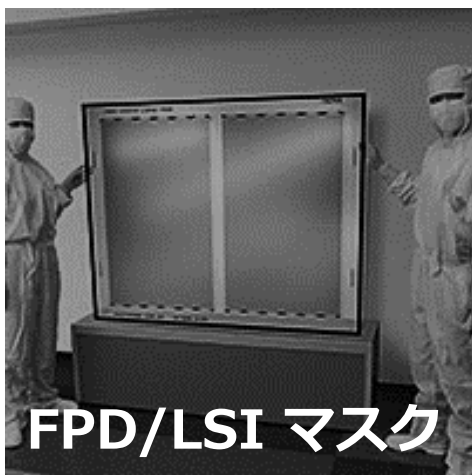


足元

EUV製品と先端品が好調。EUV比率は20%に

今後

EUV量産適用に向けた活発な開発により、EUVブランクスの継続的拡大を見込む



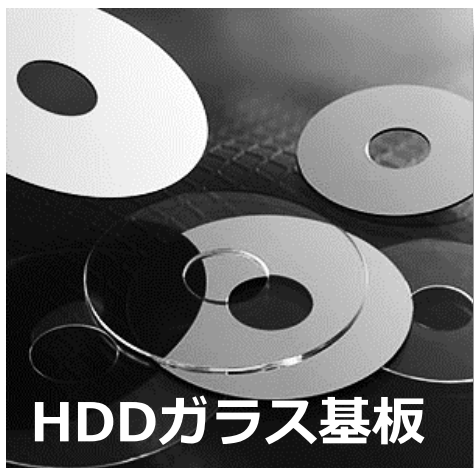
足元

FPDマスクの中国/台湾メーカーへの販売が堅調に推移。半導体マスクも好調

今後

LCD/OLEDとともに高精細パネルの開発が活発、需要をしっかりと取り込んでいく

製品別概況

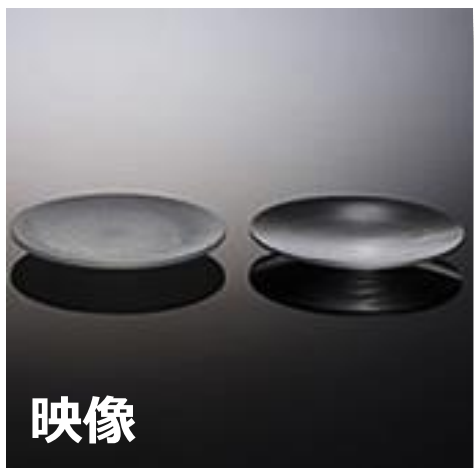


足元

NAND供給改善により2.5"が減収も、データセンター用3.5"が拡大し(3.5"比率16%)、増収

今後

ハイパースケールを中心にデータセンター需要が拡大、2.5"の縮小の補っていく



足元

コンデジレンズが減少も、監視カメラレンズや一眼レフ用フィルター等が順調、全体では増収

今後

新規用途におけるレンズ販売を引き続き図る

1. 決算概要

2. 情報・通信事業概況

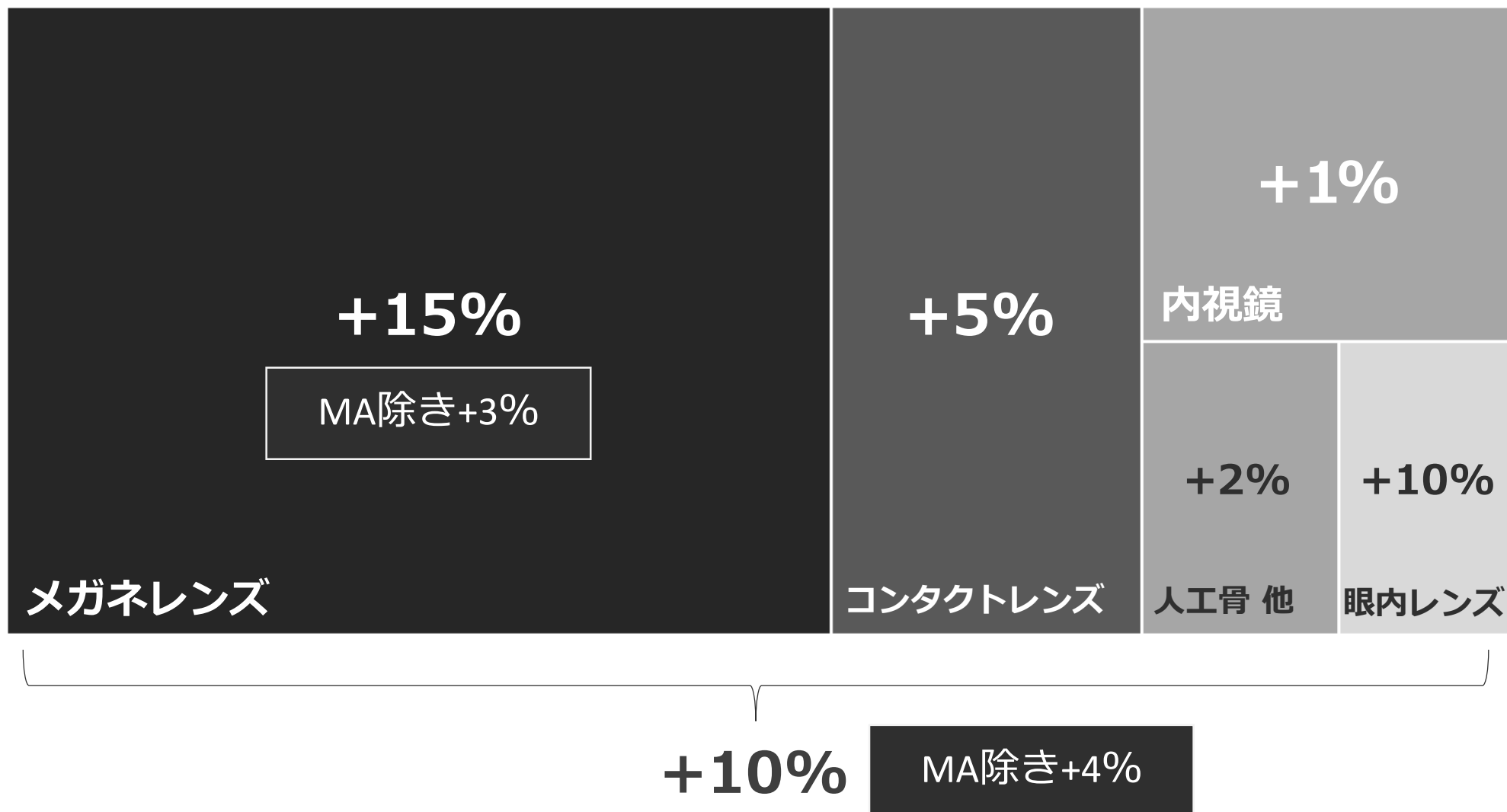
3. ライフケア事業概況 [代表執行役CEO 鈴木 洋]

4. 総括

5. 質疑応答

ライフケア事業概況

売上増減率（為替影響除き）



製品別概況



足元

日欧が回復(横ばいに)。米国が好調
増収や製品ミックス等で収益性向上

今後

昨年8月に買収したPerformance Optics社との
PMIを加速



足元

既存店が堅調に推移。
期末店舗数 276店 (新規1/閉店1)

今後

新規出店の加速を図っていく

製品別概況

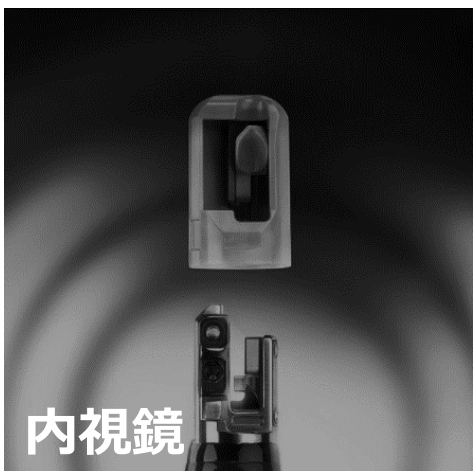


足元

新工場（昨年7月～）効果もあり、引き続き成長市場のAPACや欧州での販売数が大幅増

今後

直接/間接販売双方による販売地域拡大



足元

体制強化等により欧米での販売が堅調に推移

今後

ハイエンドから新興市場向けの低価格帯製品まで、新製品を順次発売し売上拡大を図る

1. 決算概要
2. 情報通信事業概況
3. ライフケア事業概況
- 4. 総括 [代表執行役CEO 鈴木 洋]**
5. 質疑応答

総括と今後の見通し

注カポイント
(Q3 FY17資料に記載)

Q1 FY18までの
進捗と今後

ライフケア事業

成長速度UP

実質3%前後で推移
成長加速に向け体制強化中

収益性UP

概ね利益率20%の水準に
同水準の安定的達成を図る

情報・通信事業

成熟事業の再活性化

データセンター用基板や
EUV blanksなどが成長
投資積極化も

収益性の極大化

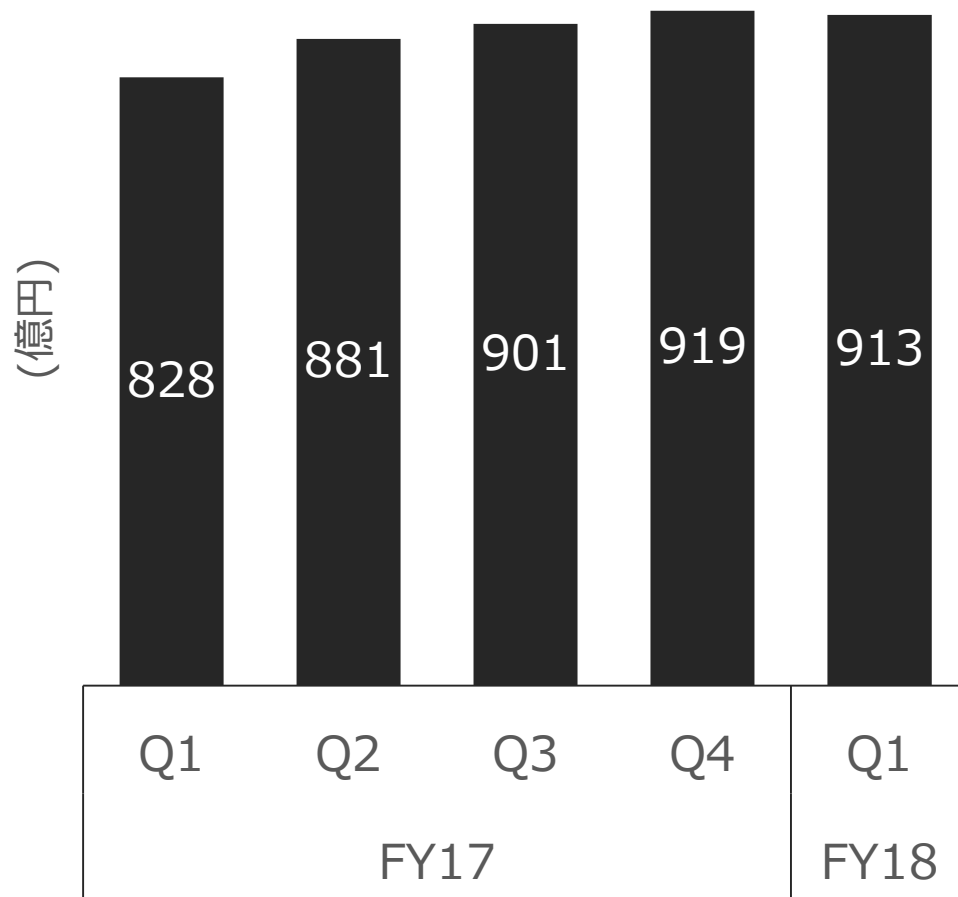
Q1 FY18 再び40%台に
同水準の安定的達成を図る

1. 決算概要
2. ライフケア事業概況
3. 情報・通信事業概況
4. 総括
- 5. 質疑応答**

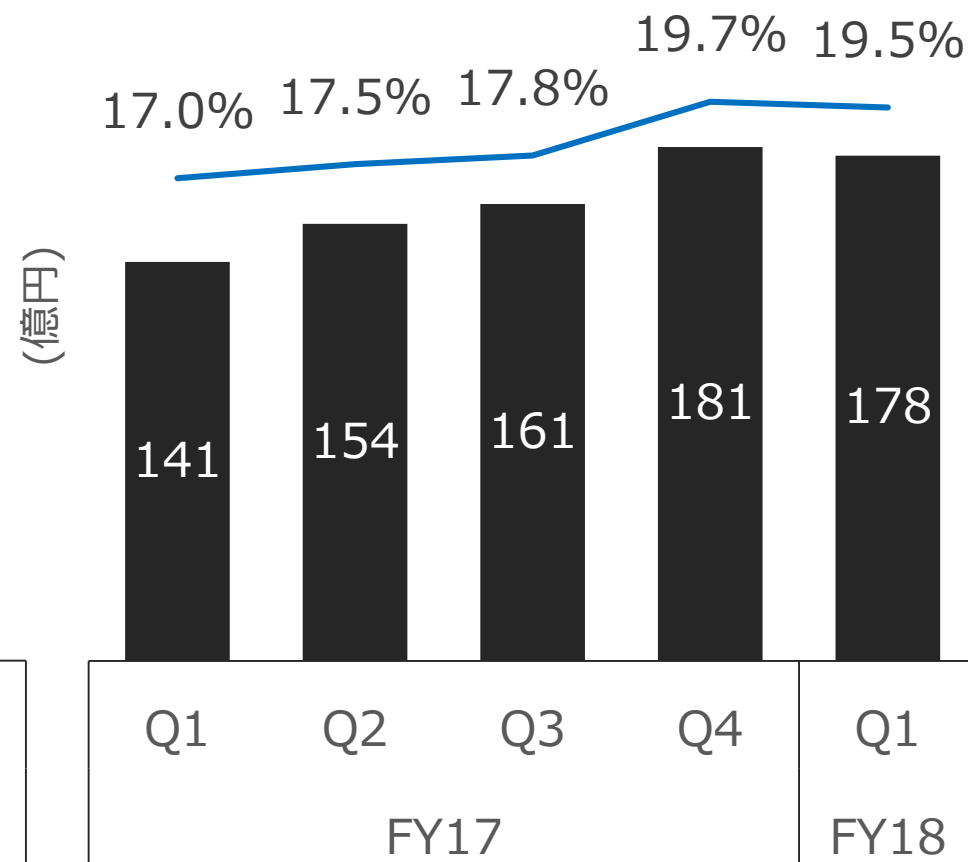
Appendix

ライフケア事業 QoQ推移

売上収益



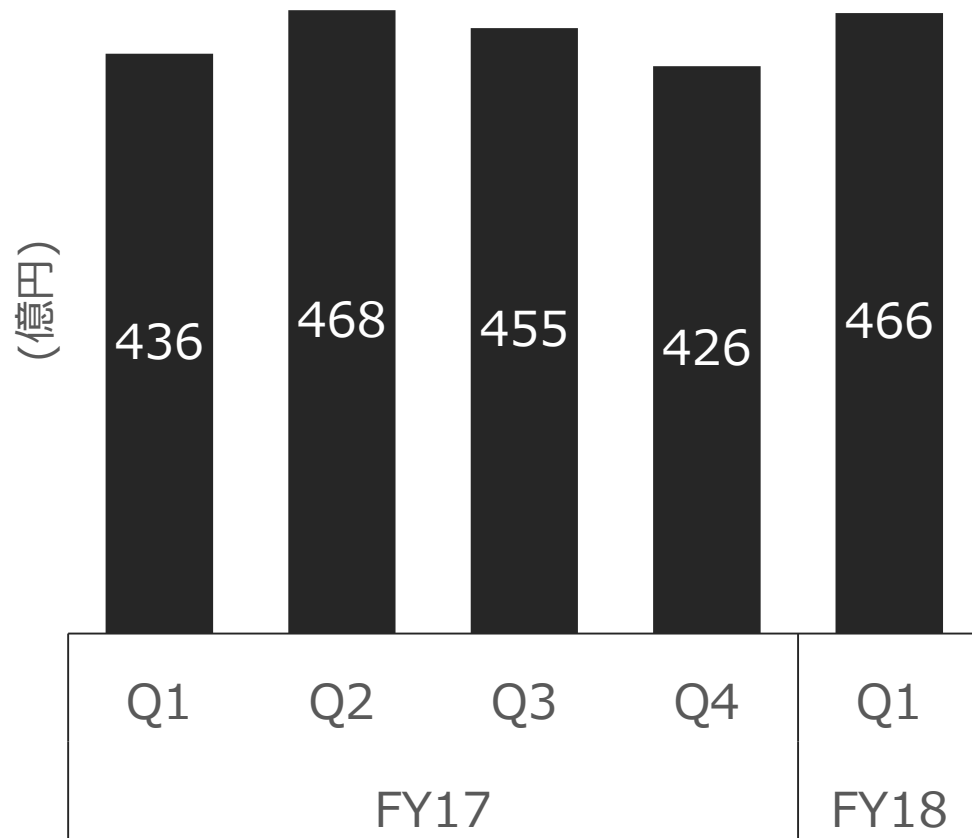
cf. 通常の営業活動からの利益 / 率



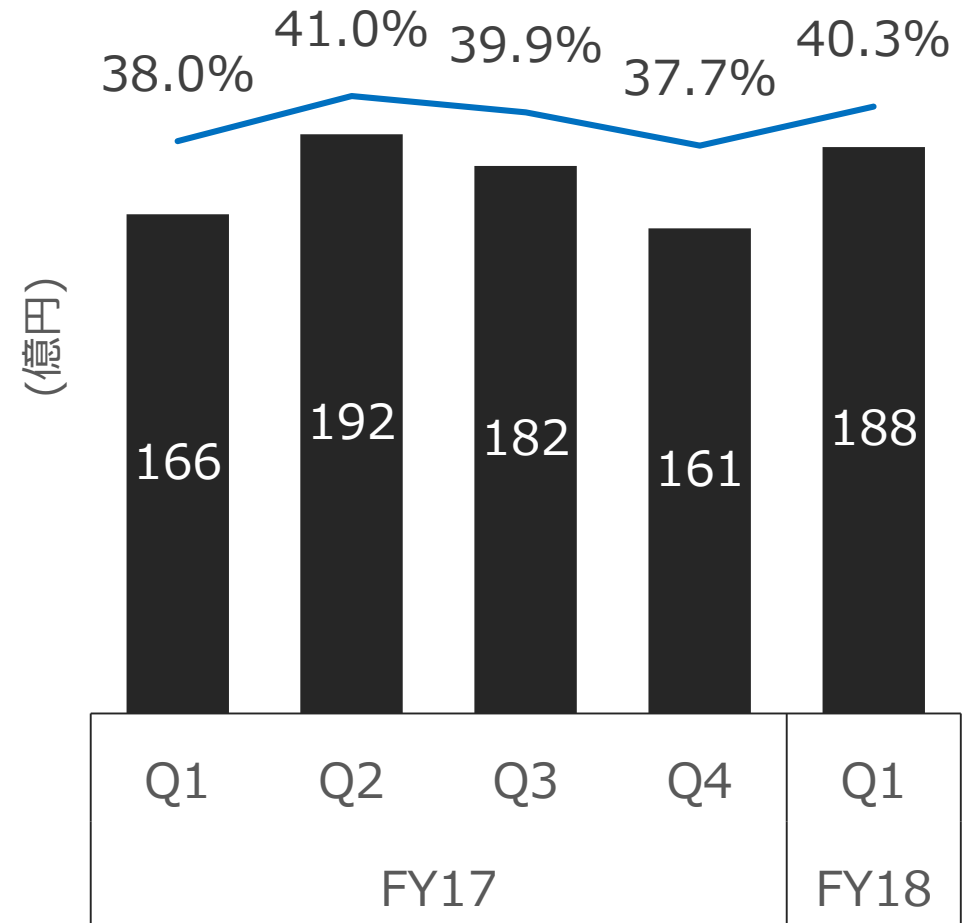
*外部売上の数値

情報・通信事業 QoQ推移

売上収益



cf. 通常の営業活動からの利益 / 率



*外部売上の数値

本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2018年4月～2019年3月の会計期間を2019年3月期もしくはFY18と表記しています。
- ✓ 第1四半期、第2四半期、第3四半期、第4四半期をそれぞれQ1, Q2, Q3, Q4と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。％は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 通常の営業活動からの利益は、税引前利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。
<http://www.hoya.co.jp/investor/kessan.html>

免責事項

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。